

ご あ い さ つ

北海道高等学校教育研究会

会長 尾崎 茂樹

本年もまた、かつての記憶を呼び起こすような峻烈な夏を迎えようとしております。このご挨拶をしたためておりますのは6月上旬でございますが、年を追うごとに北海道の四季のうつろいに変容していくのを肌で感じ、感慨を深くしております。

あらためまして、北海道高等学校教育研究会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本研究会は、北海道高等学校長協会と、本道の高校教育に携わる教員の皆様の熱き志のもと、1964 年1月に産声を上げました。爾来、歩みを止めることなく今年度で 64 回目を迎えます。この長きにわたる歴史は、ひとえに北海道の教育の未来を見据え、たゆまぬ研鑽を積んでこられた諸先輩方、そして現在、教育現場の最前線でご尽力いただいている全ての先生方の情熱の賜物であり、その重みを深く噛み締めております。

さて、現在、教育界は抜本的な変革を迫られる極めて重要な局面に対峙しております。2040 年には 15 歳人口が現在の7割にまで減少するという峻厳な予測がある中、私たちは人口減少という動かしがたい現実直面し、地域の核としての高校の維持、さらにはその特色化を図る必要性に迫られています。同時に、DXを超えたAIトランスフォーメーション (AX) 時代の到来により、従来の文理の枠組みを超え、全ての生徒がデータサイエンスやAIを自在に操り、社会課題を「自分ごと」として捉える探究的な学びが不可欠となっております。加えて、不登校や多様な学習ニーズを持つ生徒の増加を受け、画一的な枠組みから脱却し、一人ひとりの可能性を最大限に引き出す「余白」の創出、すなわち多様性と包摂 (インクルージョン) の重視が強く問われています。人生 100 歳時代を見据え、高校教育が生涯にわたる学びの基盤を築き、大学や社会人教育へと連なるリスキリングを見据えた「学びの連続性」の中で役割を強化することが求められる中、本研究大会が果たすべき使命はかつてないほど重要性を増しております。

本大会は、全体会での高邁な知見の共有と、教科部会における先進的な研究実践という二本の柱で構成されております。特に広域分散型という特徴を持つ本道において、本会は先生方が直接顔を合わせ、情報交換や研究協議を行うことのできる、かけがえのない「横の連帯と相互研鑽の機会」であります。私たち教員自身が、生徒たちに「持続可能な社会の創り手」として学び続ける姿勢を示すロールモデルとなるためにも、この2日間の自己研鑽の場が、多様な専門性を持つ質の高い教員集団を形成し、次世代の北海道教育を確かな形で繋いでいく一助となることを確信しております。

本年度の全体会では、時代の荒波に立ち向かうための本質的な問いをいただくべく、教育哲学者の苫野一徳氏を講師としてお迎えいたします。熊本大学大学院教育学研究科准教授として教鞭を執られ、教育の本質を鋭く穿つ多数のご著書で知られる気鋭の研究者である苫野氏の洞察は、本大会のテーマに深く通じるものであります。先生方の「教師としての在り方」や、多様な生徒への「学びの伴走者」としての関わり方に、新たな光を当ててくれる貴重な機会となるでしょう。

今後も本研究会が、全道各地で教育に邁進される皆様を繋ぐ研鑽の場であり続けること、そして、ここで育まれる知見が北海道の高校教育の向上に資する礎となることを切に祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

令和8年5月12日(火)午後1時30分より、ホテルライフオー・札幌において、本年度の総会・第1回研究協議会が開かれました。全道から地区支部長と各教科部会長が集まり、令和7年度事業の実施報告・令和8年度事業計画の審議、役員の改選、研究協議などが行われました。以下、その概要をお知らせします。

(1) 令和7年度 事業実施報告

- ア 会報 第123号発行 (令和7年 7月)
- イ 大会案内発行 (令和7年 11月)
- ウ 大会要項発行 (令和8年 1月)
- エ 第63回北海道高等学校教育研究大会 報告
 - ① 第1日目 全体集会 (令和8年1月6日(火)) カナモトホール(札幌市民ホール)
 - ② 第2日目 教科別集会 (令和8年1月7日(水)) 各会場
- オ 研究紀要 第63号発行 (令和8年 3月)
- カ 会報 第124号発行 (令和8年 3月)

(2) 令和8年度 事業計画

ア 第64回北海道高等学校教育研究大会

① 全 体 集 会

期 日 令和9年1月6日(水)

会 場 カナモトホール (札幌市民ホール)

研究主題 持続可能な社会の創り手を育む北海道高等学校教育の推進

日 程

9:00	12:00	13:00	13:40	15:40
	準 備	受 付	開 会 式	講 演

講 演

演 題 教育の本質、およびその実現のための対話について

講 師 苫野 一徳 氏 (熊本大学大学院教育学研究科准教授)

熊本大学大学院教育学研究科准教授。専門は哲学・教育学。現代日本の教育改革を理論と実践の両面から牽引するフロントランナーの一人である。

「自由の相互承認」を教育の根本原理に捉え、公教育の本質的な構造転換を提唱する。ルソー、ヘーゲル、フッサールなどの哲学を基盤とした独自の教育哲学は、混迷する現代の教育現場に明確な指針を与えている。

理論を机上の空論に留めず、実践へと架橋する活動を精力的に展開しており、全国各地の自治体・学校における教育ビジョンの策定、教育改革アドバイザーを務めるなど、現場の視点を持った改革者として知られる。経済産業省産業構造審議会委員、熊本市教育委員なども歴任。

また、現象学の手法を用いた「本質観取(ほんしつかんしゅ)」の哲学対話の普及に努めるなど、その活動は多岐にわたる。

主な著書に『どのような教育が「よい」教育か』『「自由」はいかに可能か』『「学校」をつくり直す』『本質観取の教科書』など多数。その明快な語り口と深い洞察は、教員や保護者のみならず、多くの市民から熱い信頼を得ている。

運 営 大会役員

司 会 者 後志支部 中村地平 氏(真狩高等学校教頭)

② 教 科 別 集 会

期 日 令和9年1月7日(木)

会場・テーマ 教科部会ごとに決定

日 程 (概 要) ※ 部会により時程は多少異なることがあります。

9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受 付	講演又は 研究協議	昼 食 (休 憩)	講演又は 研究協議	部会 ・総会

講 師 各教科部会で決定(委嘱状・依頼状については、教科部会事務局で発送)

令和8年度北海道高等学校教育研究会 教科別テーマ・会場

部 会	会 場	研究テーマ
国 語	北海商科大学 2 号館多目的ホール	言葉によって自ら考え抜く力を育む国語教育
地歴・公民	藤女子大学	「社会的な見方・考え方」を働かせ、深い学びにつながる授業の在り方
数 学	札幌エルプラザまたは教育文化会館	数学的活動を充実させ、数学的に考える資質・能力を育成する数学教育
理 科	札幌医学技術福祉歯科専門学校	持続可能な社会形成に寄与する主体性を育成するための理科教育 ～実験実習を核とした探究活動の指導法の研究・実践～
保 健 体 育	札幌国際大学	生徒自ら課題発見・解決を目指した保健体育授業 ～豊かなスポーツライフの継続を目指して～
養 護	かでの2・7(北海道立道民活動センター)	現代的な健康課題の解決に向けた学校保健活動の推進をめざして
芸 術	札幌市教育文化会館	豊かな心や創造性を涵養する芸術教育
英 語	北星学園大学	21 世紀に生きる地球市民をはぐくむ英語教育 English Education in the 21st Century : Fostering Global Citizenship 新しい流れに対応する授業をめざして In Pursuit of New Wave of English Teaching
家 庭	札幌エルプラザ(4 階大研修室)第一候補	生涯を見通してよりよい生活を創造する力を育む家庭科教育
農 業	エア・ウォーターの森	農業の持続的な発展に寄与する農業教育の推進 ～地域農業・社会に主体的に参画する産業人の育成～
工 業	北海道札幌琴似工業高等学校	テクノロジーで持続可能な社会を創る工業教育の創造と実践
商 業	札幌市教育文化会館	未来を拓く有為な人材を育成するビジネス教育
水 産	北海道小樽水産高等学校	持続可能な社会の創り手を育てる、存在意義や価値の高い水産・海洋教育はどのよう うにあればよいか
情 報	北海道札幌北高等学校	生成 AI の利活用による学びの深化と授業改善の探究

◎ 参加料 会員 2,000 円 非会員 3,500 円 一般 1,000 円(全体集会)1,500 円(教科別集会)

高等学校教員は、全体集会のみ、または、教科別集会のみの参加でも、参加料は同じです。

また、当日参加も参加料は同じです。

③ 研 究 紀 要 第64号発行(A4版)

④ 発 行 予 定 令和9年3月

⑤ 会 報 (高教研ホームページ上に掲載)

ア 第 125号 発行:令和8年 7 月 内容:令和8年度総会報告ほか

イ 第 126号 発行:令和9年 3 月 内容:第 64回研究大会報告及び第 65回研究大会の概要について

令和9年度 第 65回北海道高等学校教育研究大会の開催日について

令和10年 1 月12日(水) 全体集会

令和10年 1 月13日(木) 教科別集会

研究紀要(第 64号)執筆者募集要項

執筆を希望される方は、「教科」の区分は各教科部会事務局校へ、「教育一般」の区分は各地区支部事務局校へ申し出て下さい。たくさんのご応募をお待ちしております。なお、執筆者は本研究会の会員に限ります。

(執筆開始前に会員登録をお願いします)。

① 原稿募集の種類

(ア) 教科は、1教科につき 10ページ以内〔横書き 横24文字2段組み1,000行以内〕

(原稿の集約・審査は各教科部会長の担当です)

(イ) 教育一般は、1編につき 10 ページ以内〔横書き 横 24 文字 2 段組み 1,000 行以内〕

(原稿の集約・審査は各地区支部長の担当です)

② 執筆申込締切日 8 月 28日(金) 教科部会・地区支部事務局校まで申し込み

執筆者本部決定 9 月11日(金)

原稿本部提出締切 11 月6日(月)

※ 今年度は、研究紀要は各校 1 冊ずつと執筆者分(400部程度)を印刷。また、高教研ホームページ上にPDF化したデータを共有します

全 体 講 演 の 歩 み
～ 第 33回大会以降 ～（第58回は感染症対策のため中止）

回	開催年度	講 師 氏 名	演 題
33	平 7	河合 雅雄（京都大学名誉教授/日本福祉大学教授） 山中 燐子（北海学園大学人文学部教授）	人間 -進化の道からずれた動物 世界の中の日本と日本人
34	平 8	佐原 真（国立歴史民俗博物館副館長） 横湯 園子（北海道大学教育学部教授）	大むかしと現代 子どもを観る目 -教育臨床心理の立場から-
35	平 9	浅井 信雄（神戸市外国語大学教授） 中野 武房（北海学園北見大学教授）	国際化と私たちの暮らし カウンセリングを体験してみませんか
36	平 10	梶田 勲一（ノートルダム女子大学学長） シンポジウム	変革期の高校教育を考える 「今こどもの心は」 -問題行動の背景を探る-
37	平 11	養老 孟司（北里大学教授）	からだと脳
38	平 12	河合 隼雄（京都大学名誉教授）	青春の夢
39	平 13	阿部 謹也（共立女子大学学長）	日本社会の構造と教育
40	平 14	五木 寛之（作家）	日本人のころ
41	平 15	毛利 衛（宇宙飛行士/日本科学未来館館長）	宇宙の視点からの教育
42	平 16	寺島 実郎（三井物産戦略研究所所長 /日本総合研究所所長）	世界潮流と日本および北海道の進路
43	平 17	吉村 作治（早稲田大学国際教養学部教授）	夢の実現の仕方
44	平 18	桜井 進（河合塾、早稲田塾、数学講師 /sakurAi Science Factory 主催）	サウンド オブ サイエンス ジョン・ネイピア ～対数誕生物語～
45	平 19	金子 勝（慶應義塾大学経済学部教授）	ニュースの嘘と教育
46	平 20	阿刀田 高（作家） 阿刀田慶子（朗読家）	アイデアの発見
47	平 21	福岡 伸一（青山学院大学理工学部化学・生命科学科教授）	科学のおもしろさをどう伝えるか
48	平 22	見田 宗介（東京大学名誉教授）	現代社会はどこに向かうか
49	平 23	内田 樹（神戸女学院大学名誉教授）	転換期の教育 -グローバルズムに抗して
50	平 24	川口淳一郎（宇宙航空研究開発機構教授）	「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、 その 7 年間の歩み
51	平 25	古賀 稔彦（柔道家、古賀塾塾長、医学博士）	夢の実現 ～挑戦することの大切さ
52	平 26	大棟 耕介（NPO 法人 日本ホスピタル・クラウン協会理事長 愛知教育大学非常勤講師）	心を開き、活気を生み出す『笑い』の力 ～ホスピタル・クラウンの現場から～
53	平 27	溝上 慎一（京都大学高等教育研究推進センター教授 大学院教育学研究会（高等教育開発論講座）兼任）	社会に繋がる学習 -アクティブラーニングとトランジション-
54	平 28	中島 岳志（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授）	自主規制はいかにして起きるのか
55	平 29	児美川孝一郎（法政大学キャリアデザイン学部教授）	地域の未来をつくるキャリア教育の創造 - 新学習指導要領が示唆すること -
56	平 30	新井 紀子（国立情報学研究所社会共有知研究センター センター長・教授 一般社団法人教育のための科学研究所代表理事・所長）	AI時代の教育～社会はどこへ向かうか
57	令 元	齊藤 誠一（北海道大学北極域研究センター 研究推進支援教授）	これからの北極域研究 - 気候変動とSDGsの視点から -
59	令 3	安田 登（能楽師（ワキ方、下掛宝生流）米国Rolf Institute 公認ロルファー （米国のボディワーク、ロルフィングの専門家）関西大学特任教授）	未来へつながるリベラルアーツ - Society 5.0 時代の古典の価値
60	令 4	長谷山美紀（北海道大学副学長（IR、数理データサイエンス）大学院情報科学研究 院院長 創成研究機構データ駆動型融合研究創発拠点長）	データサイエンス・AI教育 ～これからの北海道を考える～
61	令 5	伊藤 亜紗（東京工業大学化学技術創成研究院 未来の人類研究センター長リベラルアーツ研究教育院教授） 山本 貴光（東京工業大学化学技術創成研究院 未来の人類研究センターリベラルアーツ研究教育院教授） 多久和 理実（東京工業大学化学技術創成研究院 未来の人類研究センターリベラルアーツ研究教育院講師）	ポストコロナでよく生きるために ～「利他」から見えてくる景色とこれからの 高等学校教育～ （鼎談型講演）
62	令 6	小林傳司（大阪大学名誉教授）	データは大切、そしてデータを疑うことはもっと大切 ：総合知の視点から考える
63	令 7	辻 秀一氏（株式会社エミネクロス）	非認知脳によるライフスキル思考を学ぶ！～セルフマネジメントとリーダーマネジメント～

令和8年度 北海道高等学校教育研究会 役員・地区支部長・教科部会長・本部事務局

〔役 員〕

会 副	長	尾崎 茂樹	(札 幌 旭 丘)			
	長	池原 智宏	(札 幌 琴 似 工 業)			
		西岡 憲廣	(札 幌 山 の 手)			
		前川 保夫	(札 幌 西)			
		加世田 一憲	(札 幌 新 川)			
監	事	三 関 直 樹	(札 幌 平 岸)			
		對馬 康次	(札 幌 東 商 業)			
顧	問	島 隆	青塚 健一	金 間 正 克	宮 浦 俊 明	
		守屋 開	佐々木 高至	石 黒 清 裕	林 恵子	
		相 沢 克 明				

〔地区支部長〕

〔 石 狩 〕	黒 島 敏	(札 幌 月 寒)
〔 道 南 〕	木 下 温	(函 館 中 部)
〔 後 志 〕	菊 地 誠	(真 狩)
〔 空 知 〕	遠 藤 康 浩	(滝 川 工 業)
〔 道 北 〕	高 倉 友 恵	(旭 川 永 嶺)
〔 オ ホ ー ツ ク 〕	古 野 輝 昭	(興 部)
〔 釧 根 〕	後 藤 卓	(標 茶)
〔 十 勝 〕	富 永 学	(清 水)
〔 日 胆 〕	石 谷 正	(室 蘭 東 翔)

〔教科部会長〕

〔 国 語 〕	渡 辺 淳 一	(有 朋)
〔 地 歴 ・ 公 民 〕	藤 島 尚 子	(札 幌 東 陵)
〔 数 学 〕	岩 崎 弘 之	(大 麻)
〔 理 科 〕	安 達 妙 己	(苫 小 牧 南)
〔 保 健 体 育 〕	駒 井 信 和	(札 幌 東 豊)
〔 養 護 〕	鈴 木 究	(札 幌 北)
〔 芸 術 〕	古 谷 尚	(札 幌 手 稻)
〔 英 語 〕	中 川 修 司	(千 歳)
〔 家 庭 〕	佐 紺 摂 子	(市 立 函 館)
〔 農 業 〕	治 田 理 知	(留 寿 都)
〔 工 業 〕	池 原 智 宏	(札 幌 琴 似 工 業)
〔 商 業 〕	梅 澤 謙	(札 幌 啓 北 商 業)
〔 水 産 〕	黒 島 裕 司	(小 樽 水 産)
〔 情 報 〕	古 屋 順 一	(羅 臼)

〔事務局〕

事 務 局 長	小 泉 泰 之	(札 幌 旭 丘)		
事 務 局 次 長	長 澤 美 香	(札 幌 旭 丘)	森 知 之	(札 幌 旭 丘)
	関 井 絵 里	(札 幌 旭 丘)	中 川 里 沙	(札 幌 旭 丘)
事 務 局 事 務 員	中 村 睦 美	(札 幌 旭 丘)		

【地区支部事務局】

地区支部	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
石 狩	札幌月寒	加藤 明人	062-0051	札幌市豊平区月寒東1条3丁目	011-851-3111	011-851-3112
道 南	函館中部	松倉 健一	040-0012	函館市時任町11-3	0138-52-0303	0138-52-0305
後 志	真狩	中村 地平	048-1611	虻田郡真狩村字光6番地	0136-45-2357	0136-45-3514
空 知	滝川工業	小池 圭太	073-0006	滝川市二の坂西1丁目1番5号	0125-22-1601	0125-22-1604
道 北	旭川永嶺	高橋 伸年	078-8508	旭川市永山町3丁目102番地	0166-47-6006	0166-47-6109
オホーツク	興部	大澤 裕史	098-1604	紋別郡興部町字興部125番地1	0158-82-2316	0158-82-2328
釧 根	標茶	永井 大元	088-2313	上川郡標茶町常盤10丁目1番地	015-485-2001	015-485-2067
十 勝	清水	田中 裕子	089-0123	上川郡清水町北2条西2丁目2番地	0156-62-2157	0156-62-2097
日 胆	室蘭東翔	萬年 史章	050-0072	室蘭市高砂町4丁目35番1号	0143-44-4783	0143-44-4787
※教頭が担当						

【教科部会事務局】

教科部会	事務局校	事務担当者	〒		住所	Tel	Fax
国 語	石狩翔陽	仲尾 光康	061-3248		石狩市花川東128番地31	0133-74-5771	0133-74-8741
地 歴・公 民	札幌東陵	山賀 智文	004-8585		札幌市東区東苗穂10条1丁目2-21	011-791-5055	011-791-5095
数 学	札幌丘珠	後藤 篤	007-0881		札幌市東区北丘珠1条2丁目589番地1	011-782-2911	011-782-8370
理 科	札幌西陵	庭山 淑人	063-0023		札幌市西区平和3条4丁目2-1	011-663-7121	011-663-7122
保 健 体 育	札幌東豊	篠原 肇	007-0820		札幌市東区東雁来町376番地1	011-791-4171	011-791-9116
養 護	札幌北	岡 香	001-0025		札幌市北区北25条西11丁目	011-736-3191	011-736-3193
芸 術	札幌手稲	中川 史子	006-0829		札幌市手稲区手稲前田497番地2	011-683-3311	011-683-8606
英 語	千歳	加瀬谷嘉延	066-8501		千歳市北栄1丁目4-1	0123-23-9146	0123-23-2742
家 庭	石狩翔陽	北村 仁美	061-3248		石狩市花川東128番地31	0133-74-5772	0133-74-8741
農 業	留寿都	森川 哲	048-1731		虻田郡留寿都村字留寿都179-1	0136-46-3376	0136-46-3386
工 業	札幌琴似工業	佐藤 寿彦	063-0833		札幌市西区発寒13条11丁目3-1	011-661-3251	011-661-3252
商 業	札幌啓北商業	勝田 敏正	005-0841		札幌市南区石山1条2丁目15-1	011-591-2021	011-591-2023
水 産	小樽水産	岩岬 耕平	047-0001		小樽市若竹町9-1	0134-23-0670	0134-23-4553
情 報	札幌北	前田健太郎	001-0025		札幌市北区北25条西11丁目	011-736-3191	011-736-3193

[部会長校] 国語(有朋) 数学(大麻) 理科(苫小牧) 家庭(市立函館) 情報(羅臼)

北海道高等学校教育研究会
◎2026年度 会員登録者数一覧

(令和8年7月2日 現在)

	国語	地歴 公民	数学	理科	保健 体育	養護	芸術	英語	家庭	農業	工業	商業	水産	情報	合計	前年 合計
石 狩	77	111	105	107	70	25	42	118	38	4	21	39	1	27	785	820
道 南	11	9	8	11	6	2	5	14	7	7	8	6	36	3	133	133
後 志	7	10	4	6	5	2	1	4	3	22	1	4	33	3	105	127
空 知	4	6	4	6	4	3	3	10	4	15	4	10	0	0	73	80
道 北	21	31	24	20	15	3	7	24	7	20	5	17	0	6	200	203
オホーツク	9	10	12	10	14	2	5	9	2	4	4	13	0	5	99	101
釧 根	9	15	12	12	7	1	5	10	3	14	7	9	12	2	118	131
十 勝	7	6	9	7	10	1	2	9	2	13	5	6	0	3	80	79
日 胆	12	17	18	16	15	2	6	15	6	9	11	6	0	2	135	70
合 計	157	215	196	195	146	41	76	213	72	108	66	110	82	51	今年度	1,728
昨年度	165	221	188	210	156	43	82	216	72	104	51	102	77	54	昨年度	1,744

◎会員数の推移

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
会員数	2,785	2,721	2,592	2,473	2,369	2,283	2,253	2,196	2,197	2,205	2,149	1,929	1,787	1,759	1,790	1,824

<事務局から>

会員の皆様には、いつも大変お世話になっております。高教研の登録者数がこの数年間増加を続けておりますのは、ひとえに会員の皆様のご協力によるものと存じ、この場を借りてお礼申し上げます。昨今の社会情勢や学校を取り巻く負の環境の所為ばかりではないとは思いつつ、学校そのものや教員数の減少と「働き方」を見直した影響による「校外への出控え」など、本会への参加が難しい状況があるのは「哀しい時勢」と理解しております。その上で今年度も本部から各支部、各教科部会へお伝えしているは、「各校 1 人の会員を増やしてください」というお願いでございます。今年度全道の高等学校・中等教育学校の数 は 274 校 あり ます。(R8.4.1 現在、北海道教育委員会の統計より)仮に、各校 1 人増が実現すれば 274 人の増が見込め、それだけでも会の運営が充実します。今年度の全大会は令和 9 年 1 月 6 日(水)実施であり、比較的参加しやすい日程だと思います。会場は昨年度と変わってカナモトホールに戻ります。松の内期間にカナモトホールでご参加される皆様にお会いできることを楽しみにしています。

発行 令和 8 年 7 月
北海道高等学校教育研究会本部事務局
〒064-8535
札幌市中央区旭ヶ丘 6 丁目 5 番 18 号
市立札幌旭丘高等学校内
TEL 011-513-2238
FAX 011-513-2244
Eメールアドレス d-kokyoken@sapporo-c.ed.jp